

今回は、大阪府吹田市に本社のある R P 東 プラ 株 式 会 社 (大阪北支部) を訪問し、代表取締役会長 中川 真輝 様を訪ねました。

会社の概要について

弊社は、創業者である 中川 泰治 (現最高顧問) がアクリルシート加工会社として 1953 年に創業いたしました。

当初はアクリルシートで航空機の風防や照明カバーや看板などを加工いたしておりましたが、その後 真空ポンプを利用した真空成形技術を開発し、弊社のブランド製品である鏡付き洗面収納「ウォールキャビネット[®]」を開発いたしました。

また、当時ホーローであった冷蔵庫の内箱を真空成形品で提案し、大手家電会社に採用されました。ここに真空成形の技術で自社ブランド製品と受注製品の二つの大きな柱が出来た訳です。

その後、1960 年には関東に進出、1966 年には真空成形の素材であるシート製造を開始し、シート成形から真空成形まで、一貫した生産を開始しました。

1968 年には大型の射出成形を開始し、真空成形・シート成形・射出成形の三つの成形技術を持つ現在の体制を確立しました。

又、アクリル樹脂の特性を生かし F R P との複合製品である「アクリバス、F R A[®]」浴槽を昭和 34 年より日本最先発で手掛けました。多層シート成形、中空射出成形等々も業界に先駆けて弊社が始めたものです。

弊社では“ 新技術創造 ”をスローガンに 1995 年に「技術開発センター」を開設し、材料開発から成形技術開発・製品設計まで一貫した活動をいたしております。

製造事業所としては関東と関西の 5 工場で行っています。

一方 海外は 1969 年に早々とマレーシアに進出し、その後インドネシア、中国 (香港・深圳) にも進出し、日本企業の海外シフトに対応するとともに、中国・アセアン地域の経済発展に貢献しています。



中川 真輝 会長



関東竜舞工場

弊社の商品について

弊社では、創業以来「技術」と「製品設計」を重視しており、前述いたしました製品デザインから原料、成形、組立に至る一連のプロセスにおける差別化に取り組んでおります。

そう言う事で、弊社の商品とは「形で提案出来るデザイン力・差別化された成形技術力・ニーズに合った素材開発力・それと国境を越えた対応力」であります。

売上における現在のマーケットシェアは、電機・電子・IT 関連製品 40%、住宅関連製品 30%、包装材製品 10%、その他アミューズメント、医療・鉄道車輛・機械部品等々 20%となっております。



工業部品

食品包材・その他

ハウジング

新規分野

今後の展開について

弊社は「資源環境」「製造拠点の国際化」「少子高齢化」「価値観の多様化」等々、社会の大きな変化に如何に対応が出来るか、すなわち「エコロジー、リサイクル」「高度技術化、キーデバイス」「安全、医療、介護」「ゆとり、娯楽」等々の日本に残るであろう「もの造り」で如何に存在価値を有する企業になれるのか、を絶えず追求して参ります。社会は弊社を今より一段と厳しく選択する時代に向うものと思われます。この様な危機感のもと、マーケティング活動と開発活動を推進しております。

プラスチックは元来「水に強い」素材であります。この長所を生かして屋外製品等も開発したいと考えております。

又、プラスチックは「帯電し易い」素材であります。この短所を改良して電子精密デバイスの国際物流に不可欠なプラスチック導電コンテナ等の製品開発を積極的に進めております。

当社は現在開発中の案件を数多く抱えており、身の回りの完成品からデバイス関連まで幅広く社会の変化に対応すべく新たな技術開発、用途開発を進めて行きたいと思ひます。

協会への要望

弊社でも、これまで西プラネットを通じて、従来のお客様だけでなく仕事の問合せ依頼が何件ありました。

西プラネットを一層充実させ、他の業界からの問合せ、成形業界から他の業界へのプレゼン、また同業者間の交流を促進させるようお願いしたいと思ひます。その中で、弊社の技術・成形法の活用であるとか、他の業界と協力しての製品開発を進められるような交流の場を提供して頂きたいと思ひます。

ありがとうございました。

取材：事務局 高 村・山 守